

# 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業

高校教育課

## 1 事業目的

従来の学校内で教育活動を完結させる学びではなく、社会に開かれた学校で生徒自らが問いを立て、多様な他者と協働し課題に取り組める環境を整備する。

### 【背景】

- ・「新学習指導要領」：地域の企業等との協働を前提とした探究学習の要請
- ・「第4次長野県教育振興基本計画」：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実  
“一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる”等を位置付け

## 2 令和5年度の実施状況

### (1) コーディネーター（CD）の先行配置

	職業校（池田工業高校）	進学校（野沢北高校）
CD配置数	1名	1名
業務内容	企業訪問・インターンシップ受入調整、職業研修の実施等	探究活動支援、外部サポーターの発掘、コンソーシアムの立ち上げ等
実績（4～10月）	月2～3日程度	月1～2日程度
効果	・就職でのミスマッチ解消 ・地域と学校の一層の繋がり	・生徒の問題発見能力の向上 ・教員や生徒への地域資源の提供

### (2) ワーキンググループの実施（11月までに4回）

## 3 事業内容

### (1) 新しいモデルとなる学校を指定してCD4名を配置

### (2) 研修会の開催

高校教員や関係者を対象とした研修会を開催。有識者による講演等を行う。

## 4 令和6年度予算額 257万8千円